

## 最終処分埋立地内に於ける 一時保管廃棄物の処理遅延事案についてのお詫びとご報告

この度、一部報道機関において当組合の破砕処理施設受入れコンベヤ故障により発生した一時保管廃棄物の処理に遅延があったことについて、去る11月7日にテレビ報道等がありました。当組合が処理に遅れを生じさせてしまったことにより、せたな町・今金町にお住いの方々には、ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

今後は、施設故障等、不測の事案が発生した場合について、迅速な復旧対応を行える体制の確保を徹底してまいります。

本事案に関する、対応の経緯等について下記ご報告いたします。

### 1、事案発生の経緯

令和4年4月15日に破砕処理施設の受入コンベヤ駆動減速機が故障し、復旧までの令和4年6月17日までの約2か月間、一般廃棄物でいう「燃えないごみ」等の廃棄物処理が行えない状況が発生しました。この約2か月間、処理が行えなかった廃棄物について、当組合では施設内にある最終処分埋立地の一角で一時保管を行うとともに、その保管物については、通常の廃棄物処理業務にあわせ運搬処理等を行うことで一時保管状況を解消させていくこととしました。

### 2、処理対応の経過

- 令和4年4月15日 [破砕処理施設受入コンベヤ駆動減速機の故障発生]  
施設復旧までの間に、破砕処理施設で受入れた廃棄物について最終処分場埋立地の一角で一時保管を行うこととした。
- 令和4年6月17日 [同施設減速機の故障復旧]  
一時保管廃棄物の運搬処理また有価物・処理困難物について選別処理を開始。
- 令和4年11月28日 [一般廃棄物処理施設立入検査の実施]  
檜山振興局による立入検査に於いて、施設故障に起因する未処理廃棄物の一時保管を行っている旨を説明。
- 令和5年11月7日 [一般廃棄物処理施設立入検査の実施]  
檜山振興局による立入検査に於いて、一時保管物の処理進捗について聞取りがあり、少量ずつではあるが処理を継続している旨を説明。
- 令和5年12月4日 [一般廃棄物処理施設立入検査の実施]  
檜山振興局から、一時保管物に関する事情聴取があり今後の処理計画及び廃棄物の保管場所である旨の明示と囲いの設置指示を受けた。  
(施設復旧から令和5年12月末までの運搬処理量はトラック109台分〈推計65.4t〉)
- 令和6年2月13日 [一時保管廃棄物処理計画を提出]  
檜山振興局へ一時保管廃棄物の処理計画を提出。(計画策定にあたり保管物容量調査を実施。586.29tと推計され処理の完了予定を令和6年9月20日

とし計画をした。)

- 令和6年7月17日 [一般廃棄物処理施設立入検査の実施]  
檜山振興局による立入検査に於いて、一時保管物の処理進捗について聞取りがあり、計画どおり処理を行えていない旨を説明した。
- 令和6年8月13日 [一時保管廃棄物処理計画の見直し指示を受ける]  
檜山振興局により、一時保管物の処理が計画通り進んでいないことから、処理計画の見直し指示を受ける。(令和6年8月末時点での運搬処理量は累計377台、推計198.3t)
- 令和6年11月1日 [一時保管廃棄物処理計画(計画変更)を提出]  
10月末時点の一時保管廃棄物残量(埋立処理をした処理困難物等容量を含む)は、約388tと推計され、処理の完了予定を令和6年12月27日までとして計画変更をした。
- 令和6年11月9日 [一時保管廃棄物の運搬処理が完了]  
令和6年11月13日 [檜山振興局による現地確認]  
振興局による現地確認により一時保管廃棄物の運搬処理が完了したことが確認される。施設故障による廃棄物の一時保管状況が改善される。

### 3、原因

通常処理業務と一時保管廃棄物の運搬処理等を実行する為の人員・重機等を含めた体制構築不足

### 4、今後の対応

組合として、本事案に関わらずトラブル等の未然防止に努め、また不測のトラブル等に対する対応について、着実にまた迅速に実行・解決できる体制づくりを徹底していきます。